

救急・救助

救急出動件数	10,797件
搬送人員	10,271人

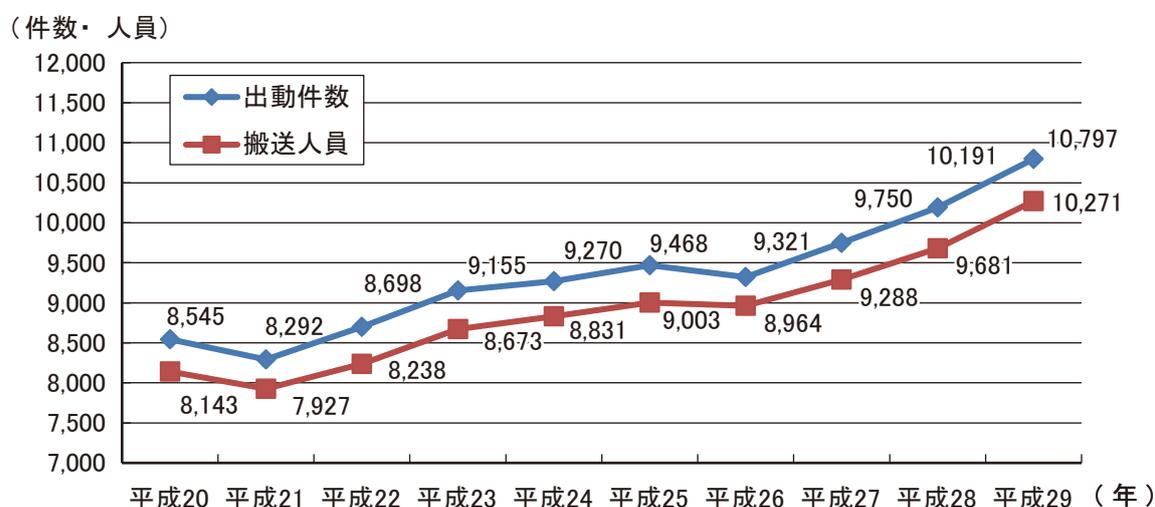
救助出動件数	131件
活動件数	69件
救助人員	71人

救急・救助業務のまとめ

(1) 救急業務

平成29年中における救急出動件数は10,797件（前年10,191件）、搬送人員は10,271人（前年9,681人）で、前年に比べ出動件数で606件（5.9%）搬送人員は590人（6.1%）の増加となりました。また、出動件数の上位は急病、一般負傷で、全体の約80%を占めており、次いで転院搬送、交通事故の順となっており、1日平均29.6件（前年27.8件）の割合で出動したことになります。

過去10年間の救急業務の推移



ア 市町の状況

構成市町別にみると、出動件数、搬送人員とも鳥取市が8,835件、8,411人と最も多く全体の8割以上を占め、1日約24件の割合で出動したことになります。

イ 事故種別出動件数及び搬送人員の状況

出動件数及び搬送人員を事故種別にみると、出動件数では急病が7,245件（全体の67.2%）、一般負傷1,483件（同13.8%）、そして転院搬送940件（同8.7%）、交通事故633件（同5.9%）の順で、出動件数の95.6%となります。また、搬送人員では急病6,929人（全体の67.5%）、一般負傷1,440人（同14.0%）転院搬送934人（同9.1%）、交通事故656人（同6.4%）の順となり、搬送人員の97.0%を占めています。

ウ 現場到着所要時間及び収容所要時間別搬送人員の状況

救急事故の入電をしてから救急車が現場に到着するまでに要した平均時間は、8.8分で、5分以上10分未満を要したものが6,478件（全体の約60.6%）と最も多く、次いで10分以上20分未満が3,121件（同約29.2%）3分以上5分未満が660件（同約6.2%）となりました。

救急事故の入電をしてから医療機関へ収容するまでに要した平均時間は、33.5分で、30分以上60分未満を要したものが4,972人（全体の約48.4%）と最も多く、次いで20分以上30分未満が3,830人（同約37.3%）、10分以上20分未満が999人（同約9.7%）となりました。

エ 救急隊員が行った応急処置の状況

救急隊員が応急処置を行った傷病者は10,246人で、搬送人員10,271人のうち99.8%の傷病者に対して、何らかの応急処置を行ったこととなります。

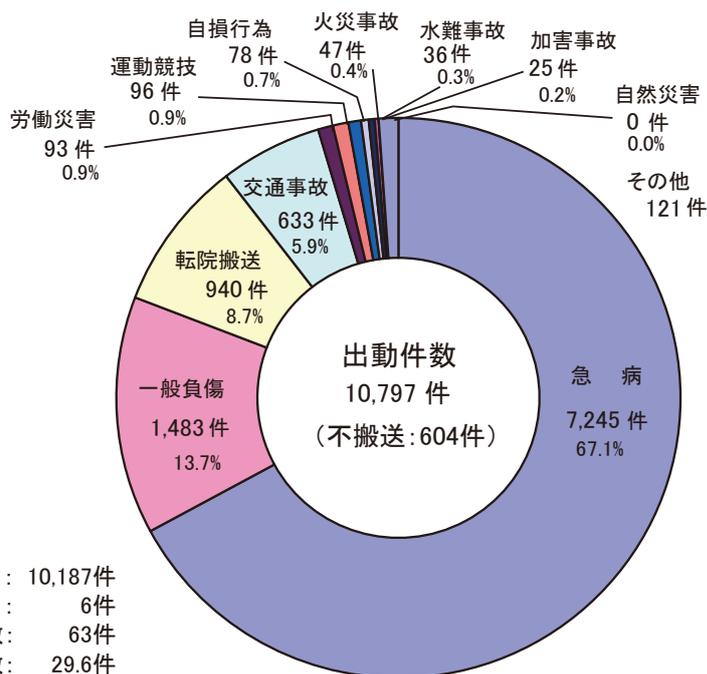
応急処置のうち最も多く実施したのは、傷病者の酸素循環を観察する血中酸素飽和度の測定で9,923回、次いで血圧測定9,553回、心電図9,066回、聴診器による心音・呼吸音等の聴取7,720回、酸素吸入2,539回の順となっています。

また、救急救命処置を実施した救急件数は219件で、このうち気管挿管による気道確保41回、食道閉鎖式チューブ等による気道確保131回静脈路確保のための輸液194回、除細動器による除細動21回、薬剤投与123回を実施しました。

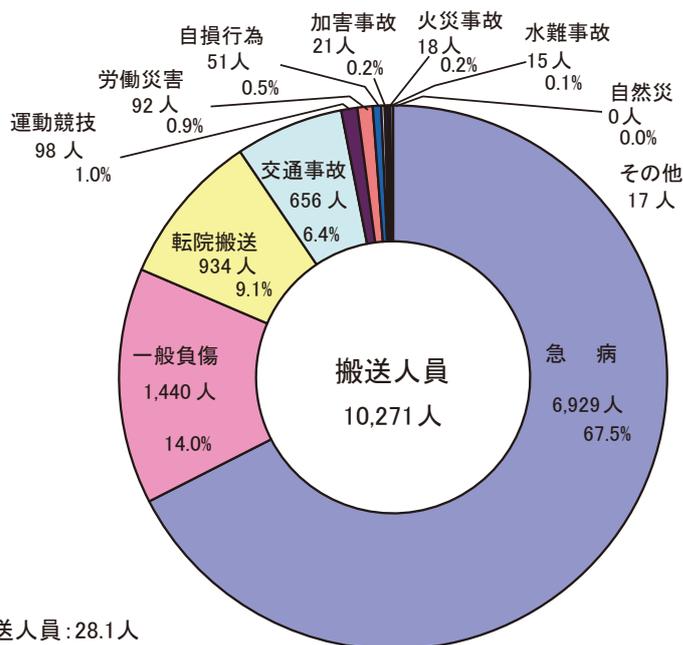


(2) 救急の概況

ア 事故種別出動件数



イ 事故種別搬送人員

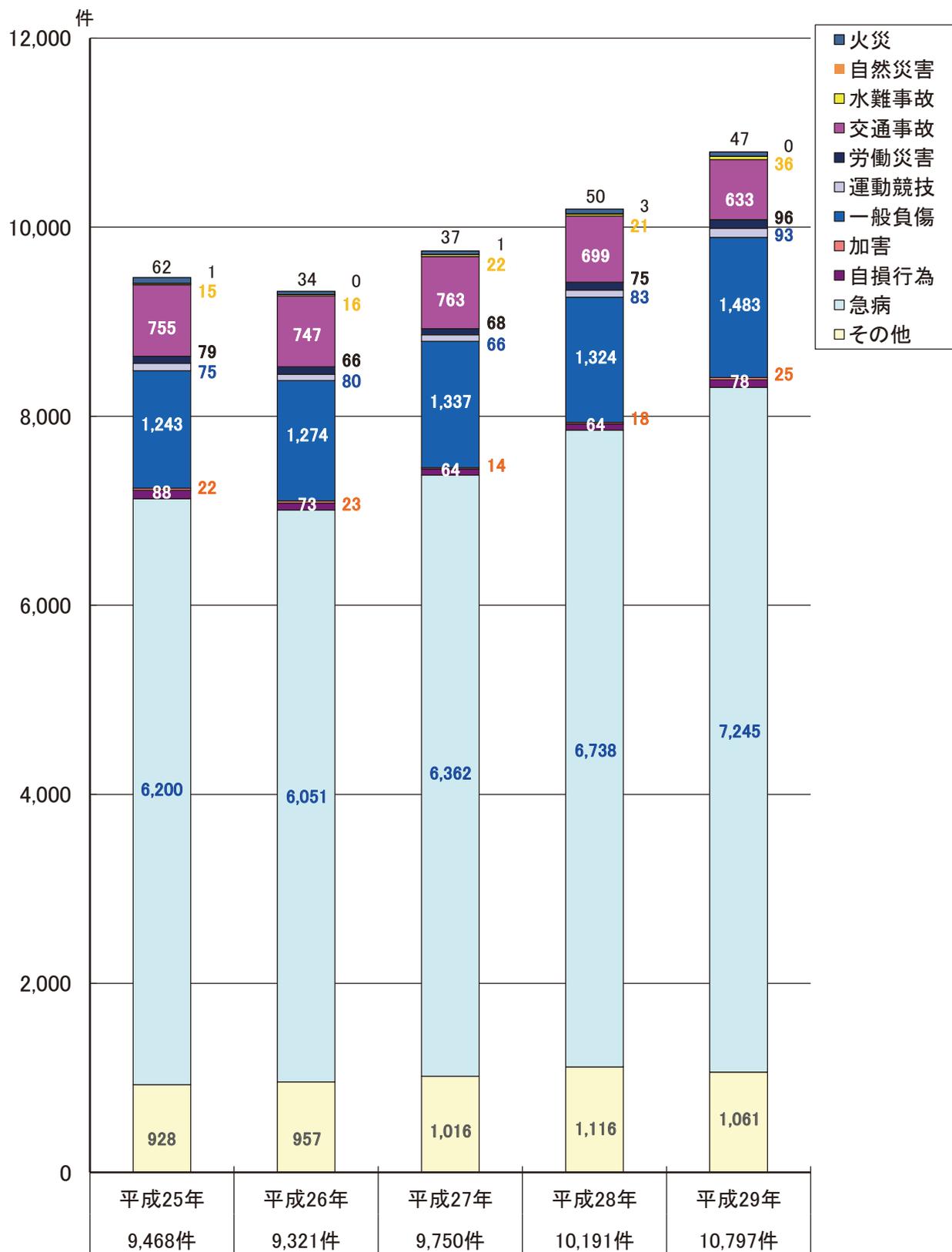


{ 事故種別 }

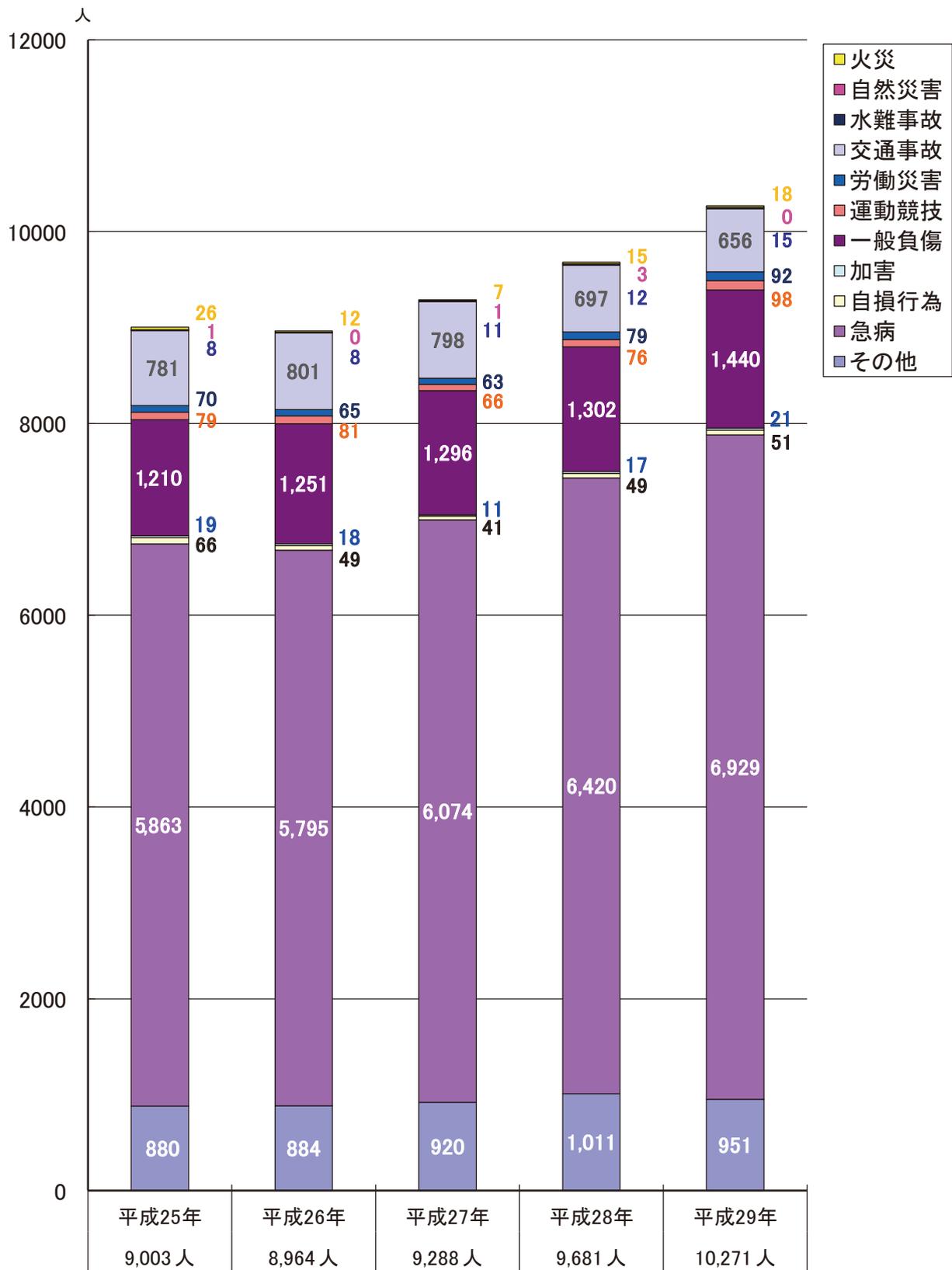
火災事故：火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
 自然災害：異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
 水難事故：水泳中（運動競技除く）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
 交通事故：すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
 労働災害：各種工場、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
 運動競技：運動競技の実施中に発生した事故をいう。

一般負傷：他に分類されない不慮の事故をいう。
 加害事故：故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
 自損行為：故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
 急病：疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
 転院搬送：医療機関間の搬送をいう。
 その他：医師・看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のものをいう。

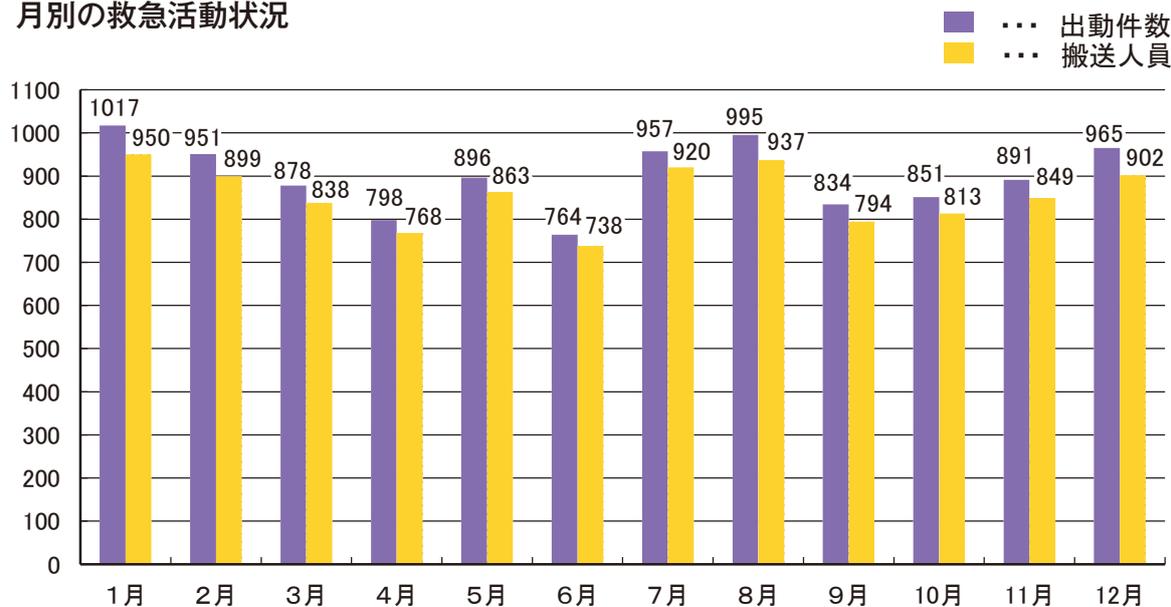
(3) 年別(過去5年間)の事故種別出動件数



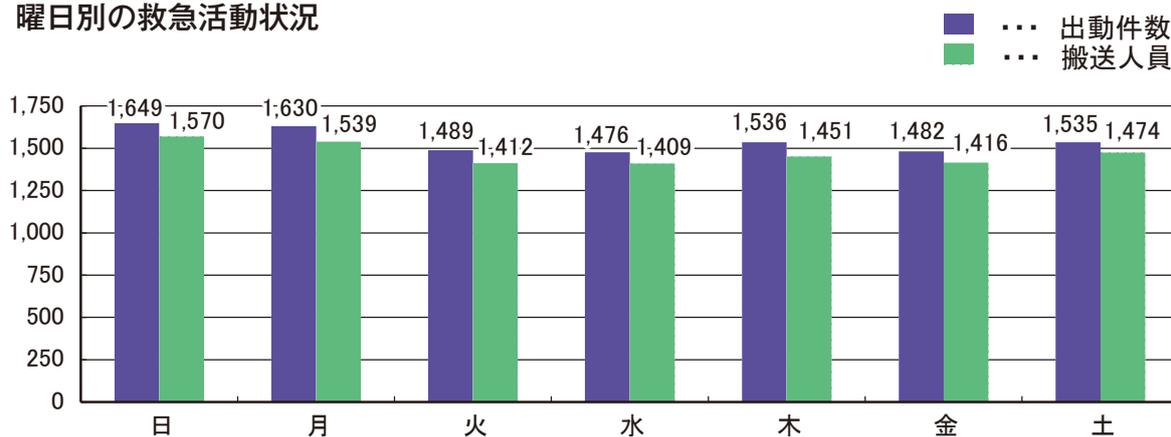
(4) 年別(過去5年間)の事故種別搬送人員



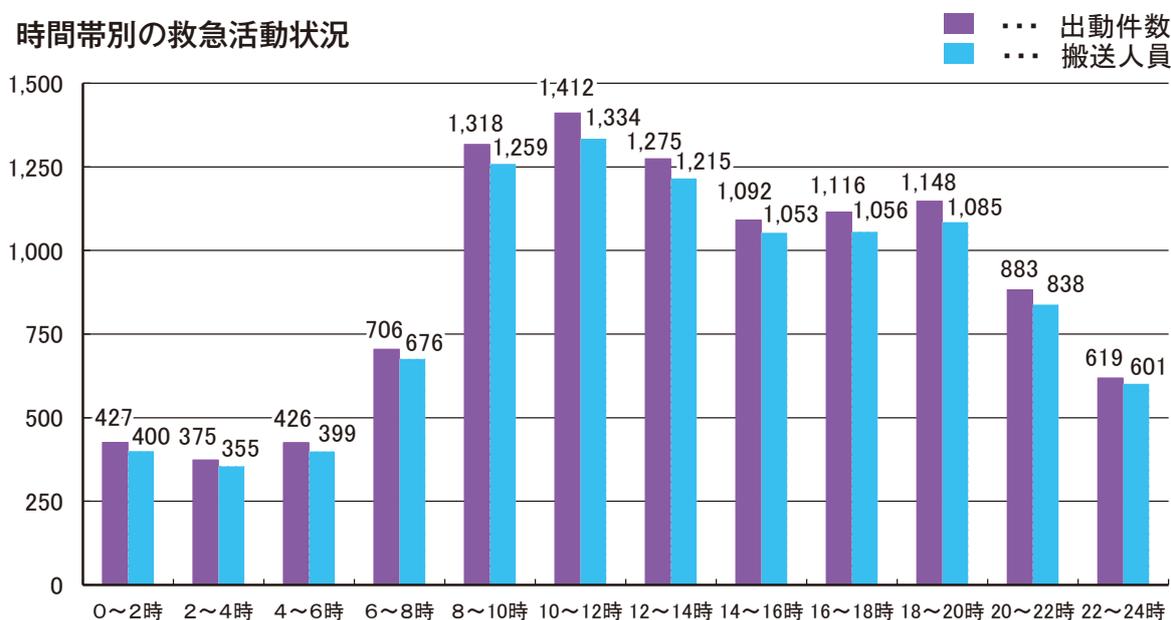
(5) 月別の救急活動状況



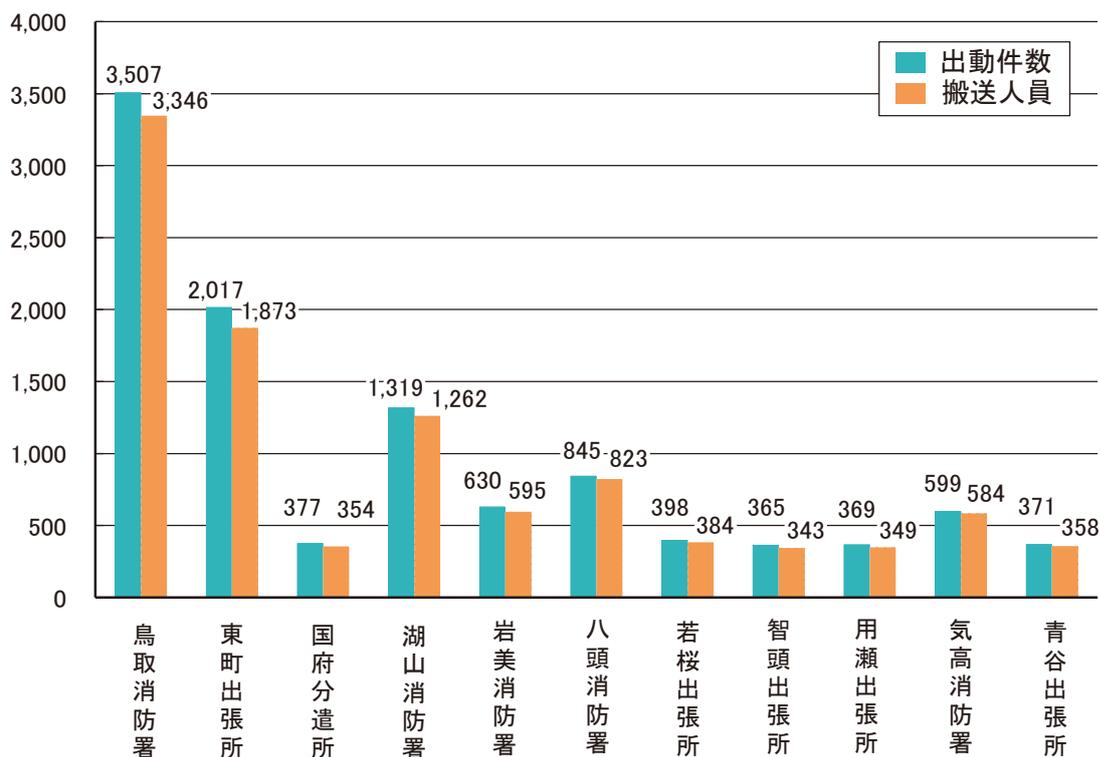
(6) 曜日別の救急活動状況



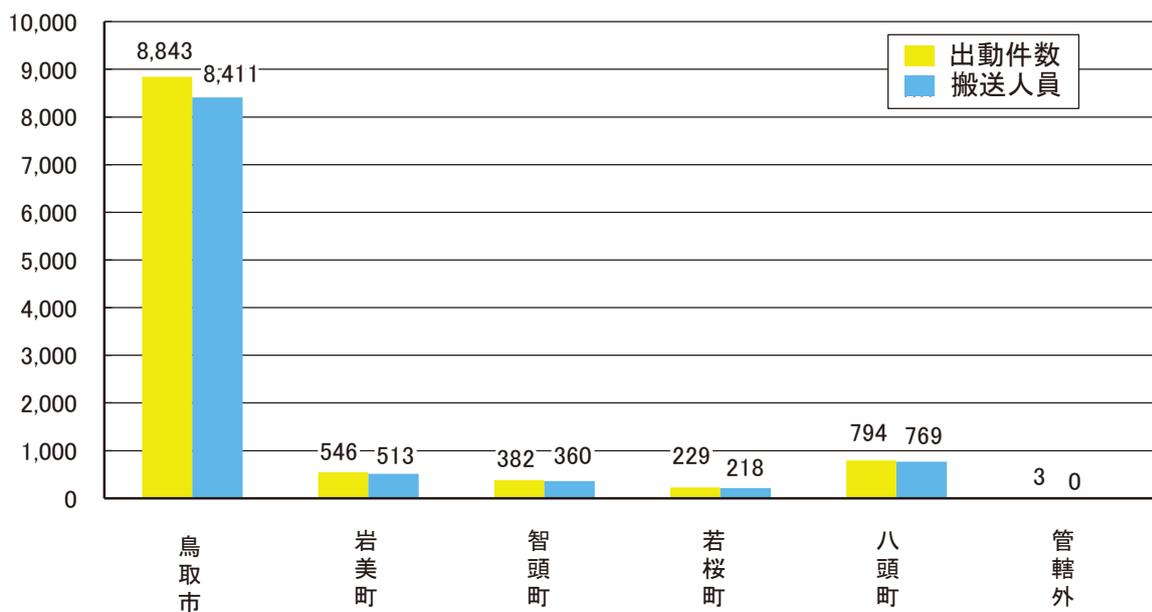
(7) 時間帯別の救急活動状況



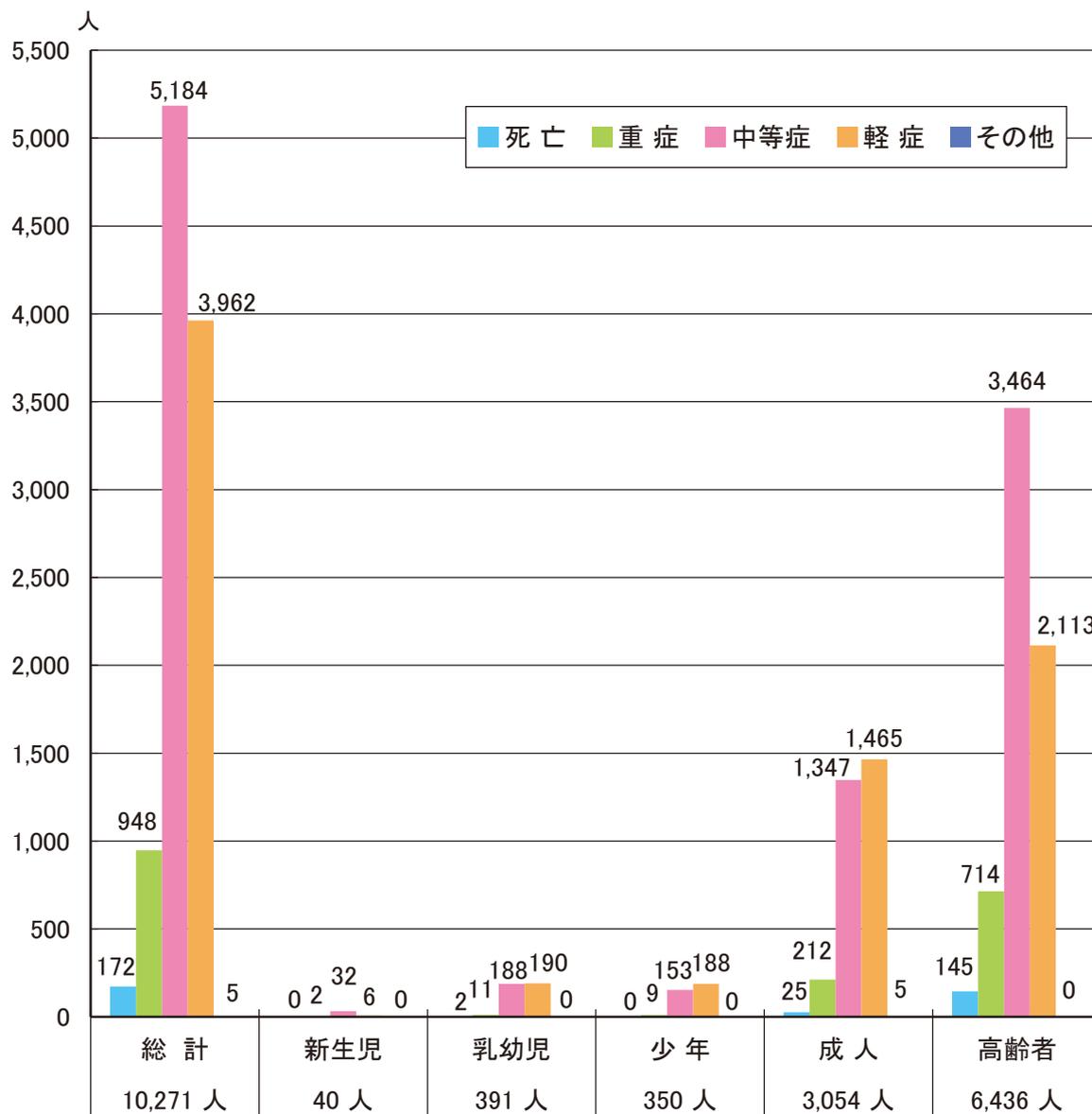
(8) 署所別救急活動状況



(9) 市町別救急活動状況



(10) 年齢区分別・傷病程度別搬送人員の状況



※備考

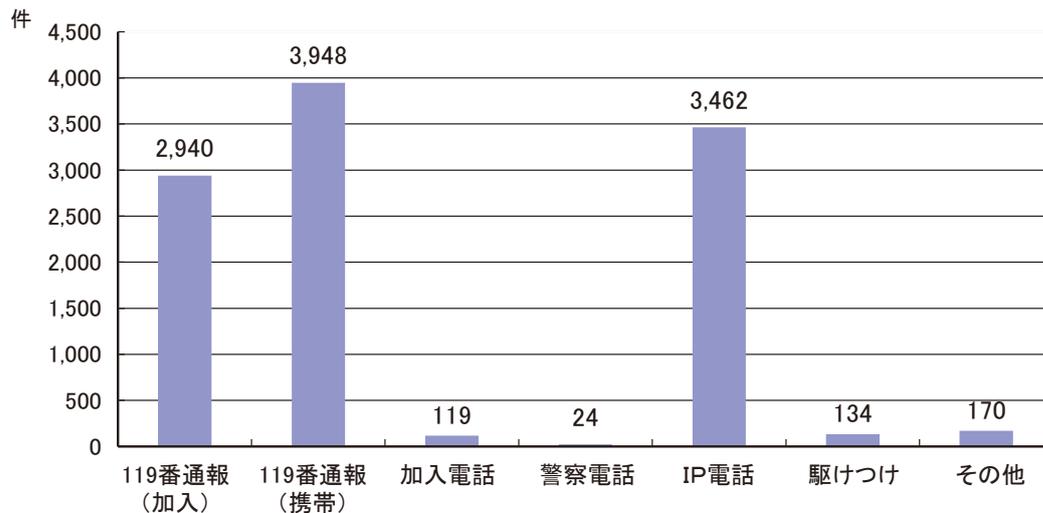
(1) 傷病程度

- 死亡：初診時に死亡が確認されたもの
- 重症：3週間以上の入院加療を要するもの
- 中等症：入院を要するもので重症に至らないもの
- 軽症：入院を必要としないもの
- その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

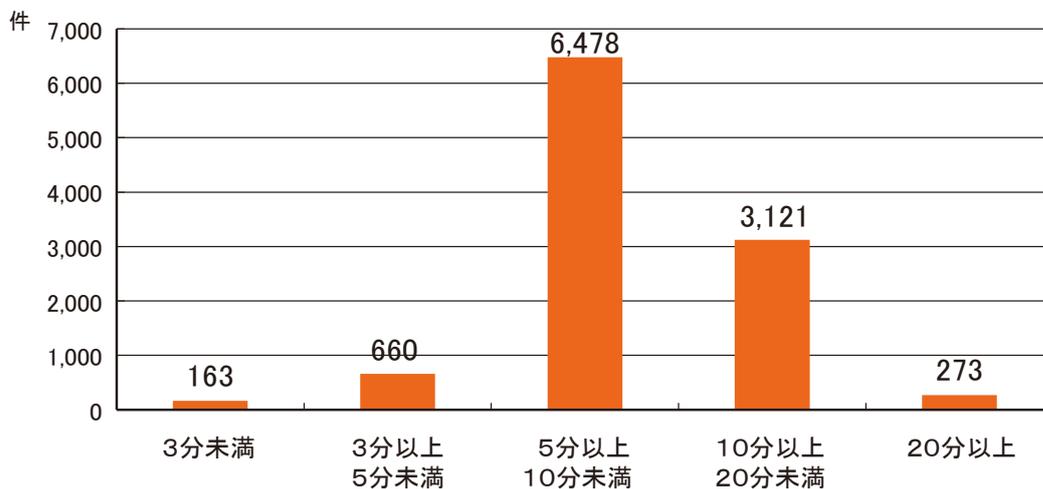
(2) 年齢区分

- 新生児：生後28日未満の者
- 乳幼児：生後28日以上7歳未満の者
- 少年：満7歳以上18歳未満の者
- 成人：満18歳以上65歳未満の者
- 高齢者：満65歳以上の者

(11) 覚知別出動件数

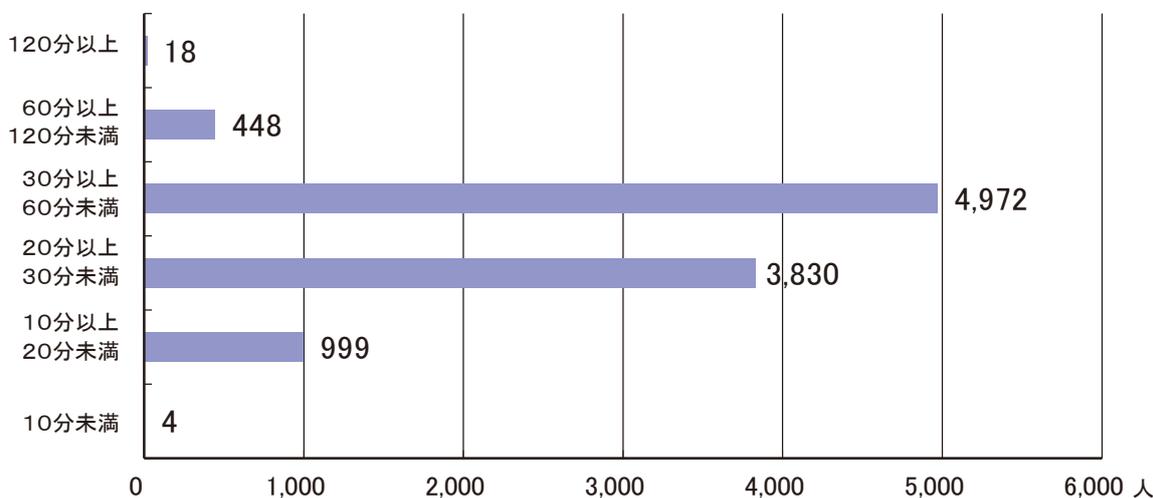


(12) 現場到着所要時間の状況(出動件数)



※現場到着時間とは、救急事故を入電してから現場に到着するまでをいう。

(13) 病院等収容所要時間の状況(搬送人員)



※収容所要時間とは、救急事故を入電してから病院等に収容するまでをいう。

(14) 医療機関別搬送人員の状況

区 分		総 数	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
総 数		10,271	6,929	656	1,440	1,246
告 示	公立病院	5,870	3,871	353	791	855
	公的病院	2,574	1,723	183	427	241
	私的病院	1,457	1,073	107	175	102
告示外の医療機関		284	231	2	25	26
管轄外の医療機関		78	31	11	18	18
その他の場所		8	-	-	4	4

(15) 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

種 別 署 別	上級救命講習		普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		救命入門コース		その他の講習	
	回 数	受講人員	回 数	受講人員	回 数	受講人員	回 数	受講人員	回 数	受講人員	回 数	受講人員
消 防 局	0	0	7	253	0	0	0	0	0	0	7	41
鳥取消防署	2	8	40	810	2	24	2	40	7	132	118	2,757
湖山消防署	0	0	21	382	0	0	0	0	4	96	28	758
岩美消防署	0	0	3	31	0	0	0	0	0	0	18	324
八頭消防署	0	0	21	296	0	0	0	0	4	58	65	1,484
気高消防署	0	0	18	302	0	0	0	0	9	80	22	580
合 計	2	8	110	2,074	2	24	2	40	24	366	258	5,944

上級救命講習：8時間の講習で、到達目標として心肺蘇生法及び大出血時の止血法が、救急車が到着するのに要する時間程度できる。

また、自動体外式除細動器（AED）について理解し、正しく使用できる。

さらに、傷病者管理法、副子固定法、熱傷の手当、搬送法等を習得する。

普通救命講習Ⅰ：成人に対する心肺蘇生法（胸骨圧迫・人口呼吸）やAEDの使用法・止血方法などが学べます。

普通救命講習Ⅱ：普通救命講習Ⅰに筆記・実技試験が加わります。

普通救命講習Ⅲ：小児・乳児に対する心肺蘇生法（胸骨圧迫・人口呼吸）やAEDの使用法・止血方法などが学べます。

その他の講習：1～2時間程度の講習で、主に心肺蘇生法及び大出血時の止血法を学ぶ。

(16) 救助業務

ア 救助活動の推移

平成29年中における救助出動件数は131件（前年134件）、救助活動件数は69件（同88件）、救助人員は71人（同96人）となりました。

これは、前年に比べ出動件数で3件、活動件数で19件、救助人員で27人の減少となりました。

イ 事故種別出動件数及び救助人員の状況

事故種別ごとの出動件数は、131件中、最も多いのが交通事故の55件で全体の約42%を占め、次いでその他の事故29件、水難事故28件の順となりました。

事故種別ごとの活動件数も、69件中、最も多いのが交通事故の31件で全体の45%を占めました。

また、救助人員も71人中、交通事故が35人で全体の約49%を占めました。

ウ 月別救助活動状況

月別平均出動件数は約10.9件で、月別の出動件数は8月が21件（16.0%）と最も多く、次いで6月の15件（11.5%）、5月と7月がそれぞれ12件（9.2%）の順となりました。

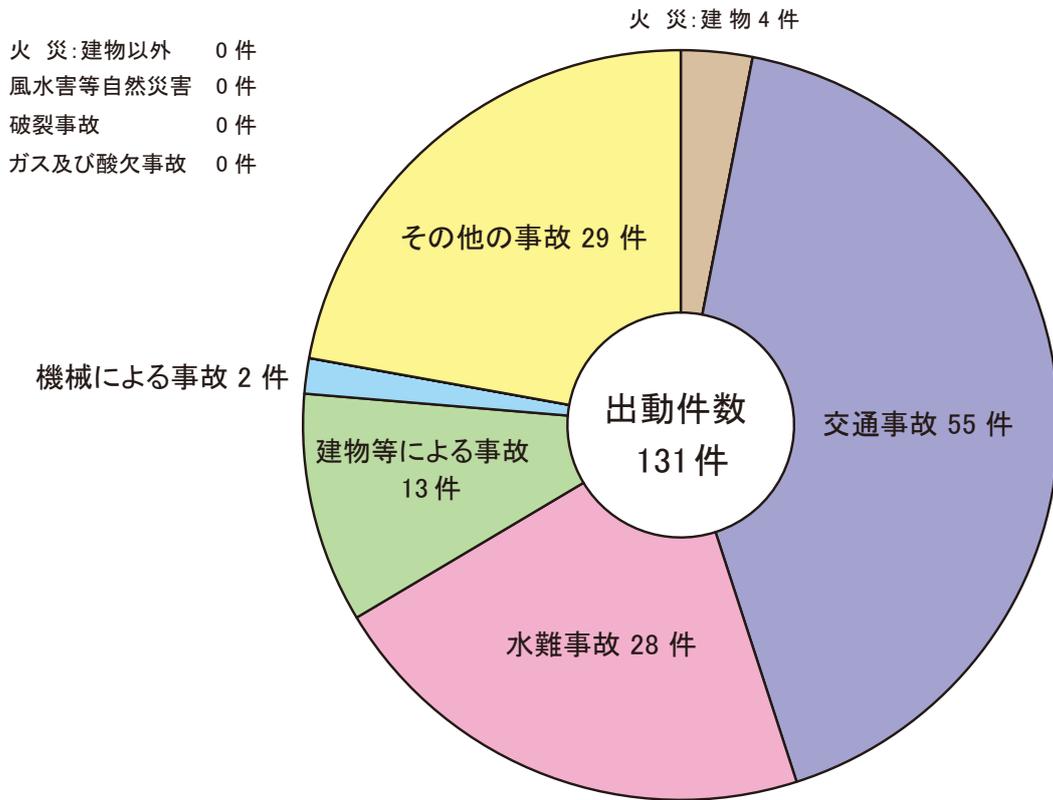
エ 市町別救助活動状況

市町別の出動件数は、鳥取市100件（76.3%）、岩美町12件（9.2%）、八頭町10件（7.6%）、智頭町7件（5.3%）、若桜町1件（0.8%）の順でした。

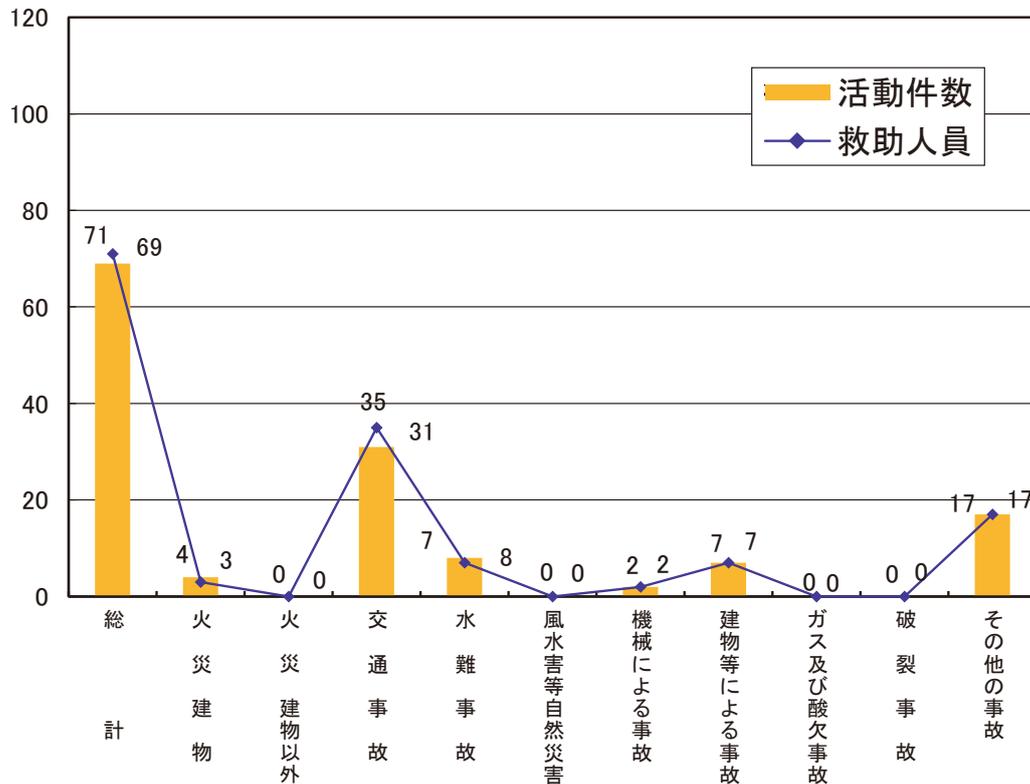


(17) 救助活動状況

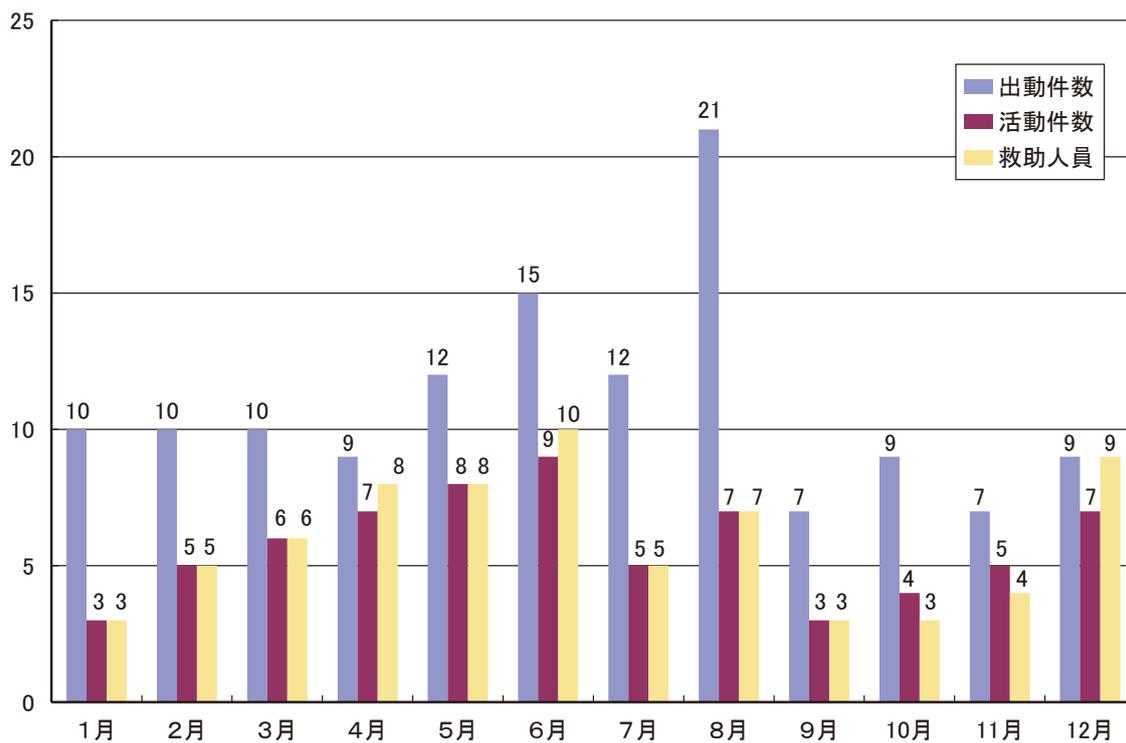
ア 救助出動件数



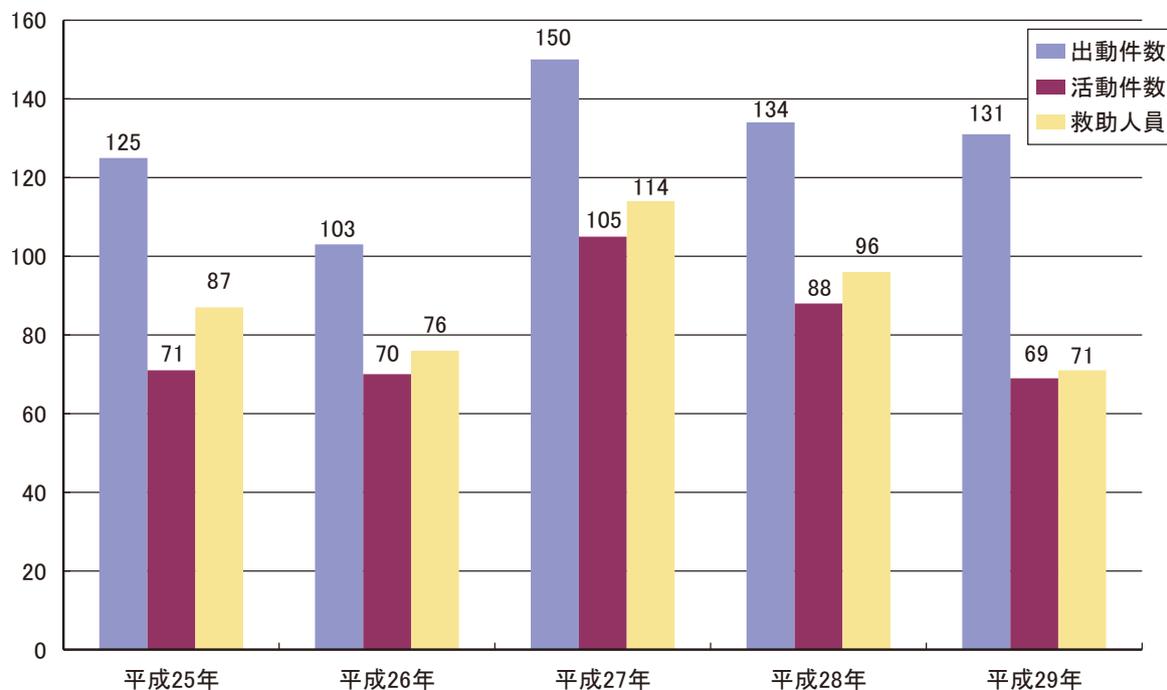
イ 救助活動件数・救助人員



(18) 月別の救助活動状況



(19) 年別(過去5年間)の救助活動状況



(20) 鳥取県消防防災ヘリコプター関係

ア 消防防災ヘリコプター活動件数

活動種別	合計		災害応急		火災防ぎよ		救急		救助		防災訓練等	
	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29
全件	159	154	12	10	6	5	73	63	45	48	23	28
東部管内	56	66	0	0	2	4	26	17	18	24	10	18
東部割合	35%	43%	0%	0%	33%	80%	36%	27%	40%	50%	43%	64%

イ 県内各地への所要時間



県内各地への所要時間



(21) 公立豊岡病院ドクターヘリ・鳥取県ドクターヘリ関係

ア 公立豊岡病院ドクターヘリ出動件数

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
全 件	1,282	1,422	1,570	1,761	1,926	2,166
東 部 管 内	54	65	62	69	46	75
東 部 割 合	4.2%	4.5%	3.9%	3.9%	2.3%	3.4%

※平成22年度4月運航開始



イ 鳥取県ドクターヘリ出動件数

平成30年度3月に運航開始され、8月31日現在、管内要請件数8件で出動件数5件です。

年 度	H30
全 件	203
東 部 管 内	8
東 部 割 合	3.9%

※平成30年度3月運航開始

